

|          |   |
|----------|---|
| 担当教員     | 塚本 真也   |
| 所属       | 自然科学研究科（工学系） 教授   |
| 電話番号     | 086-251-8040  |
| Eメールアドレス | <a href="mailto:tukamoto@mech.okayama-u.ac.jp">tukamoto@mech.okayama-u.ac.jp</a>  |
| オフィスアワー  | 随時、OK。ただし、086-251-8040へアポを取ってから、来てください。   |
| 授業の概要    | <p>学生諸君が大学（さらには大学院）を卒業後、企業や研究所で活躍する過程で「自分は優れた研究や開発を成し遂げたのだ！」といかに自己満足していても、それが具体的かつ説得力のある「科学技術報告書」や「学術論文」の形で上司や学会に認められないかぎり、その成果をさらに発展させることはできない。科学技術者が仕事を円滑に進めて業績を正当に評価してもらうためには、文章と図面ならびに口頭発表による「コミュニケーション技術」すなわち「科学技術文章・図面の作成法とプレゼンテーション・ディベート技術」に練達することが不可欠である。</p> <p>そこで、科学技術論文の作成技術では学術論文執筆を最終目標にして、科学技術者が習得すべき「科学技術文章のイロハ」から「実験リポートの作成法」と「卒業論文」ならびに「学術論文」を構築するための基本技術までを講義し、さらに毎回演習問題に取り組みさせることで講義内容を的確に駆使できるように訓練する。</p>  |
| 学習目標     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 科学技術文章の基礎である「誤字脱字の削除」、「常用漢字限定」などを習得する。</li> <li>2. 実験リポートあるいは卒業論文の執筆法に習熟する。</li> <li>3. 図面作成の基礎である線図の作成法と作図力学を理解する。</li> <li>4. プレゼンテーションの基礎と応用を徹底訓練で習得する。</li> </ol>   |
| 授業計画     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション - - - - - 科学技術文章が書けないかぎり、科学技術者生命はない</li> <li>2. 図の種類と線図の作成法+演習 - - - - - 高校時代の図面は、大学では通用しない</li> <li>3. 作図力学と作図テクニック +演習- - - - - 生データ図法とスクリーンターン技法</li> <li>4. 最低限守るべき科学技術者倫理 +演習- - - - - 盗作リポート学生の将来は、犯罪者！</li> <li>5. 知的なプレゼンテーション技術+演習- - 説得力のあるプレゼン・ディベートのためのノウハウ</li> <li>6. 文章作成の基本ルール+演習- - - - - 科学技術文章以前の作文ルール（誤字、送りかな）</li> <li>7. 知的な文章作成技術 +演習- - - - - 文章の流れ制御と焦(じ)らせて落とす文末表現</li> <li>8. 悪文から学ぶ文章作成法 +演習- - - - - 思わず書いてしまう悪文の数々</li> <li>9. プレゼンテーション訓練（1）</li> <li>10. プレゼンテーション訓練（2）</li> <li>11. 演習問題特訓</li> <li>12. 演習問題特訓</li> <li>13. 演習問題特訓</li> <li>14. 演習問題特訓</li> <li>15. 試験と解説</li> <li>16. 総まとめ - - - - - 試験結果の発表とアンケート調査</li> </ol> |
| 受講要件     | 受講要件はない。学部学生ならば自由に受講できる。  |
| 教科書      | <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）教科書1：「知的な科学・技術文章の書き方」中島利勝、塚本真也 共著（コロナ社）＝泰山堂販売</li> <li>（2）教科書2：「知的な科学・技術文章の徹底演習」塚本真也著（コロナ社）</li> <li>（3）教科書3：「知的な科学・技術文章の徹底演習～論文作成編」塚本真也著（岡山大学出版会）</li> </ol>   |